



# がんば

島原市立第三小学校  
育友会報  
発行部  
広報部

【第107号】

特集

今、  
養護教育を考える



授業風景の一コマ（仲よし学級）

# 育を考える

7月2日(月)

白山公民館において

**司会** 本日は、「今、特殊教育を考える」と言うテーマで、三小における特殊教育の実情、問題点、要望などを話し合っています。

**坂本さん** 子供が六年生の仲よし学級なんですけど、交流学級で普通学級へ行ったらときに、物を投げたり他の生徒に迷惑をかけるのが心配です。

**金子さん** 反対に、うちの子は普通学級の子供たちから良くない言葉を覚えさせられたり、ズボンを取がせられたりといじめの対象となる事が多く、また、障害児の子供と言うのは一度覚えた言葉を、時や場所を考えずに使ったりするので、



ワープロを特訓中!

おもしろ半分が悪い言葉を教えたりますのは止めてほしいです。

**渡辺先生** 三小の子供たちは、障害交流児がいるという事で、集団生活の中で交流児を中心に色々な勉強をする機会が多い事は幸です。ただし、健常児でもやはり子供ですから、時にはおもしろ半分交流児をからかう事もあります。ただし、先日の修学旅行では、親身になって交流児の手を引いて助けてくれる子供たちを見て感激しました。

**山本先生** いじわるをする生徒と、いうのは、交流児にだけではなく、他のどの子にでもいじわるをします。また、女の子はお世話をしたがります。私のクラスでは、子供たちがどの様な行動を取るか、それを見守る事も勉強だと思えます。交流児ができない事を何でも手伝うより、一人でできる様に見守る

事が、交流児のためになると思えます。

**司会** 交流学級における問題点で、おもしろ半分交流児にいたずらをしたり、ふざける事が交流児にとっては非常に重い意味を持つ事がわかりました。次に、集団登下校や、地域・町内会における問題点や要望はありませんか。

**金子さん** 登校時に、蹴られたり殴られたりするとところを見る事があります。

**江頭さん** うちの子は、手を握られたり体の動きを止められると、感情のコントロールができずに、せっかくなんどうを見てくれる人に反抗することもありますが、それがたたりたり、たたかれたりへと発展したりします。

**内田学級部長** 私は町内でソフトボールの監督をしていますが、その中に障害児もいます。確かにけん

## 三小養護教育の歴史

▽昭和三十七年四月

愛護学級設置

児童数……男子六名・女子四名

担任……上田進教諭

▽昭和五十年四月

仲よし学級設置

(固定学級)男子二名・女子二名

(通級学級)男子一名・女子四名

### 愛護学級

日常生活に差し支えない程度に身辺の事柄を処理することができ「軽度の精神薄弱児童」を対象とした学級で、健康な体づくり、基本的な生活習慣の確立、社会生活に必要な言語の理解や表現などを指導の中心にしている。また、通常の学級の児童と活動を共にする機会(交流教育)を設けて、集団生活への参加が円滑に行えるよう配慮してある。

### 仲よし学級

自閉・かん黙・習癖などのため、社会的適応能力の乏しい児童を対象とした学級で、自閉児は対人関係を中心として多くの問題を持っているので、各教科等の目標のほかに、日常の生活習慣を身につけさせること、感覚機能や運動機能の発達を図ること、対人関係を改

## 特 集

## 今、養護教

## 座談会より

かをしたり、人につばをはいたりしますが、他の子にいやさしい面も持っています。そして、悪い時は差別をせず、他の子と同じようにしかるようになっていきます。そうする事で、少しずつ仲間意識も育ち、いじめも無くなると思います。

**渡部さん** 私の子も町内でソフトボールに入っていますが、町内活動に積極的に参加すると、集団登下校でのいじめはありません。雨の中で荷物を持ってくれたり、手を引いてくれたり本当にうれしいです。

**渡辺先生** 町内によっては、対応がまちまちだと思います。

**平野学級部長** 一つずつの積み重ねが勉強だと思います。障害児にとっても健常児にとっても、少しずつ相手の立場を理解し、経験を重ねて育つものだと思います。

**前田生活部長** 義務教育後が心配です。義務教育を修了した障害児を受け入れる施設が不足していると聞きます。子供は社会の宝、常に社会全体の力で育てる必要があります。

**池田環境部長** 三小で特殊教育を受ける為、わざわざ三小地区へ転居・転勤される方もいます。町内に障害児がいる場合、やはり他の子と差別をせず、悪い時は叱るべきだと思います。

**司会** 積極的に町内ぐるみで障害



おいしくできるかな？

児のめんどうを見ると、登下校や学校で仲よく生活ができ、お母さん方も安心だという意見が多いようです。指導される町内の方も、他の子と差別しないとの考えです。が、叱る時にたたかれる事があるかもしれません、それはどう思いますか。

**坂本さん** 町内の人には色々とお世話になっていきますし、しついでおこられる事はかまいません。

**江頭さん** 何でも知るのは勉強です。悪い事のやりすぎでおこられるのも勉強です。ただし、学校で他の子供さんからたたかれたりするの、程度の問題です。障害児は、一〇〇たたかれても一〇しか伝えられません。将来、一人では生きていけないし、だからといっていつまでも親と一緒にいるので、健康児とカドとカドをぶつけ、こすり合いな程度を勉強し、生活していかなければなりません。

**司会** 次に、教室を預かる先生方に教育上の問題や目標をお願いします。

**渡辺先生** 正直言って、初めは何をしたら良いかわかりませんでした。が、紙芝居、工作、野菜作り、話し言葉・読み言葉等の勉強を通して、社会性と生きる力を教えます。

善し言語の理解と使用を促進する。個別指導や小集団指導の場を設け、刺激の少ない部屋を用意したり、視覚教材を作成・活用したりする等工夫している。

かん黙児は、とりわけ対人関係の不安の緊張が高いため、教師との人間関係を基盤に、遊戯療法などを取り入れ、集団への参加が円滑に行なわれるよう配慮して指導を行っている。

▼市内の小・中学校における特殊学級の児童数(平成2年度)

**愛護学級**

一小：四名 一中：五名  
三小：四名 二中：休級中  
五小：休級中 三中：二名

**仲よし学級**

三小固定学級：五名 二中：一名  
三小通級学級：一名

**ことばの教室**

二小固定学級：五名  
二小通級学級：十二名

※通級学級

週、又は月に何日か決められた日に通学して学習する学級。



竹村先生 やはり、教科の勉強よりも、まず生活できる力を教えたいです。

榎木先生 対人関係、集団行動がにがての子供たちですので、教師との関係を基本に、回りの人たちとの関係を教えています。

司会 色々な話を聞いて、この座談会に出席の方々、特殊教育の認識を新たに自分の子供と話をする機会を作ってはいかがでしょうか。そして、広く一般の育友会員の方にも考えていただく必要があると思います。

平野学級部長 育友会活動にも無関心の方が多いたが事実です。しかし、少しでも逆の立場を考えて、



僕が先生だよ



今日は私が給食当番

もし自分の子供が障害児だったらと思ひ、関心を持つべきです。

金子さん 私の子供は六年生ですが、思春期を迎えようとしています。これを上手に乗り越える為にも、

周りの大人の理解が欲しいです。竹村先生 障害児に理解のある大人、特に母親の理解が必要です。

司会 同じ子を持つ親として、どの親も我が子が可愛いものです。障害児を特別な目で見ないで、一人の人間として普通に同じように扱うように努力すべきだと思います。それでは、最後に本日の座談会を聞かれた校長先生に感想をお願いします。

伊藤校長 三小には、仲よしと愛護の二つの特殊学級があり、二つの教室を持っている学校は県下でもあまり例がありません。さらに、本校の重点努力目標の中にも、特殊教育の理解と推進を取り入れて

おります。この座談会の御意見も、職員会議等でも申し出て力を入れたいと思います。交流学級では、

かわいそうなどの同情論でなく、人間尊重の精神に立った指導をしたいと思ひます。仲よし・愛護の子供たちは、明るい挨拶、欠席・遅刻の少なさ、よく働くなどの面で、普通学級の子供にない良い面があります。特殊学級の子から普通学級の子が学ぶ相互交流を推めていきます。また、仲よし・愛護の三名の先生は、子供と一緒に汗にまみれて、だだをこねると抱いてやったり、一緒に運動場を走ったりと一生懸命指導をしております。今後共、三人への協力をお願いします。

司会 学校・地域と一体となって、障害を持つ子も普通の子も育てていきたいと思ひます。本日は貴重な御意見ありがとうございます。

## 学級部代議員研修会

六月二十七日、学級部主催の代議員研修会が白山公民館で開催されました。講師は、県立島原養護学校校長の貞包圭介先生で、県教育センター勤務の経験等を基に、最近起こった女子高生監禁殺人事件など現代の青少年の持つ問題や時代背景を中心に、親と子の関係、子育ての問題点を話されました。主な内容は、

○子供に親として正面より向かう姿勢が大切。

○子供の欲求とがまんする心のバランスを保つ。

○学業の心配よりも集団の中で自主性・社会性の心配の方が大切。

○子供が大きくなっても、親として物を言える関係を保つ。

○ほめ上手になって育てる。

また、養護学校校長として色々な障害を持つ子供に対して、普通の人間として認め、社会の中に受け入れる事が本当の接し方だと話されました。会場は、水を打った様な張りつめた雰囲気の中、講演が進み、参加された代議員の方々、話の内容を自分の立場に置き換えて真剣に聞き入っていました。

時間よもひつしゆんくろん

江頭ひとみ



『かたらい』を書く時期になると、「ついこの前、入学したばかりなのに」とか、「まだまだ〇年生だから」と、「もう〇年生か」とか、時のたつ速さをいつも感じます。

『光陰矢のごとし』ということばが思い起こされます。そして、親の会の先輩のお母さんが、「まだまだだと思っていたら、あっという間に義務教育が終わってしまい、将来どうするかと深刻に考え



真険なまなざしで

るものよ。でも、自分たちも子供が小さい頃は、そう思っていたけどね」と言われていた話を思い出しています。

将も、この春には小学5年生になります。いつの間にか、靴が私と同じサイズになっていました。体も今グングン大きくなっているようです。私が追い越される日も、そう遠くはないでしょう。

でも、まだ幼いのです。かわいいのです。純粹なのです。まるで、将のまわりだけ、時がゆっくり過ぎていつてくれているみたいに……今一番に考えなければならぬことは、何なのか？夫婦で話すことがあります。そして、いつも決まっています。『将の将来にとって、どうしてやるのが、一番ベストなのか』今、私達もたくさん

の問題を抱えています。交流のこと、在籍のこと、中学校のこと、転勤のこと、健常児である弟の子育てのこと……etc.

将は優しい子に育ってくれました。体の具合が悪いときは、心配

はつきません。

してくれそうです。ふさいでいるときなどは、慰めてくれます。夫婦げんかをしているときは、間をとりもとうとしてくれます。

『お願いだから、時間よ、もう少しゆっくり過ぎていってくれませんか？』

将が成長していく時間の余裕を与えて下さい。

もう少し、将を待つてあげて下さい。きつと、将も、自分のペースで、時間についていけると思いますが……』

『時間よ、急がないで。』と思っている、今日この頃です。



この作品は、特殊学級に在籍する子供たちの父母の会の文集「かたらい」より掲載しました。

座談会出席者

▼父母の会

坂本さん

渡部さん

近藤さん

▼学校

伊藤校長

渡辺先生

榎木先生

▼育友会

松崎副会長

内田学級部長

池田環境部長

上田保健・給食部長

▼広報部

全員

金子さん

江頭さん

森さん

前田教頭

竹村先生

平野学級部長

前田生活部長



親子でカレーライスを作りました

# 楽しかった 給食試食会

上田 すす子

六月二十一日、校長先生初め多数の保護者（二〇〇名）の出席をいただきまして、子ども達と一緒に試食会を行いました。お母さん達は、久しぶりの給食に「麦ごはんておいしかね。煮物もおいしかよ。」とあちらこちらから親子で、お母さん同話しながら、おいしそうに食事をされていたようです。家庭では、好き嫌いをする子供も、給食はほとんど残さず食べている姿を見て、お母さん達も満足されていたようです。

食事のマナーについてアンケートをしていただきましたので、結果をごらん下さい。又、家庭でも一度マナーについて考えられてはいかがでしょう？  
最後に、御協力を下さいました皆様、ありがとうございました。



## 【アンケート結果】 (調査人員 68名)

質問事項	質 問 事 項		
	は	い	いいえ
一、正しく「はし」を使うことができる	56名 (82%)	12名 (18%)	
二、食器を正しく持って食事をする	52名 (76%)	16名 (24%)	
三、ひじをつかないで食事をする	61名 (89%)	7名 (11%)	
四、背筋を伸ばして食事をする	54名 (79%)	14名 (21%)	
五、朝食をきちんととっている	毎日	時々	食べない
	61名 (89%)	6名 (8%)	1名 (3%)

〔感想〕  
 ●大変おいしかった  
 ●いろいろなメニューがあってよかった  
 ●残さず子供が食べてくれた  
 ●量もちょうど良い(家でよりたくさん食べた)  
 ●食器を変えてほしい(食器が冷たい感じがする)  
 ●フルーツを入れて欲しかった  
 ●お茶が欲しかった

## 小さなお客様



おかわり ほしいな

最近、昼食時間になると時々、可愛い小さなお客様の歓声がプールにこだましています。プールの隣の白山保育園の年長・年中の園児たちで、毎日三小のプールから聞こえてくるお兄ちゃん・お姉ちゃんのにぎやかな声を聞いては、「一度でいいからあの大きなプールで泳ぎたい」と思っていました。そこへ、思いも掛けない校長先生からのプレゼントに大喜び。週に一度、三十分程遊びに来るとの事皆さん、見かけましたら声を掛け

## 編集後記



ワァ〜イ 大きなプールだ!

前回の第一〇六号より、イメージエンジを試みた「がんば」に皆さんお気づきでしょうか。会員の皆様方に楽しみながら読んでいただけるようにと、広報部員一同の願いをこめて毎回お届けしております。すばらしいチームワークで手ぎわよく出来上って行く「がんば」に驚きと、今まで以上の愛着を感じている広報部一年生の私です。会員皆様のたくさんのお声をお聞かせ下さい。(中道)

てあげてください。小さなお客様のピキニ姿、とっても可愛いですよ。